



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

2月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行/藤井寺市議会
☎939・1208

令和5年第4回定例会の あらまし

令和5年第4回定例会は11月28日から12月19日までの22日間の会期で開催され、令和5年第3回定例会から継続審査となっていた令和4年度6会計決算の認定、令和5年度の補正予算、条例の一部改正、人事案件など16案件、及び意見書2件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

◎認知症との共生社会の実現を求める意見書

一般質問



大阪維新の会

代表質問

生田 達也

1 生成AIの活用について

質問 チャットGPTを活用した実証実験の総括を伺います。

答弁 年間、1人2千時間程度の業務時短効果が見込めます。利用職員の95%が効率や質の向上を感じ今後も利用したいとの回答を得ました。半面、情報リテラシー向上と使いこなす育成の課題も明確になりました。
要望 短縮した時間を政策立案や働き方改革に充当できます。導入に向けた研究を要望します。

2 自治体間連携について

質問 直近の企業との連携実績を伺います。

答弁 議員の提案にて大阪東部ヤクルト販売(株)と地域の見守りや健康に関する包括連携協定を締結いたしました。

質問 自治体間連携も重要ですが、備品の共同調達、法定管理の一括委託や専門職不足への対応で、連携により歳出を削減できます。市長の考えを伺います。
答弁 厳しい行財政運営が続く

中で、広域化によるスケールメリットを活かし、効率化を図ってまいります。

要望 本市はゼロカーボンシティ宣言をしています。選挙の投票用紙はプラスチック製の合紙ですが、現在、焼却処分をしています。先行実施している守口市や近隣市と連携し、リサイクルによる二酸化炭素排出量削減の取り組みを要望いたします。

3 観光施策について

質問 本市は岩井俊二監督「キリウのうた」のロケ地となり反響を得ました。今後のロケツアーズムへの取り組みを伺います。

答弁 市ホームページにロケ候補地の写真、施設、事業者の紹介を掲載し、支援とPRを行っています。

質問 大阪・関西万博へ1回目は大阪府が府内在住・在学の子どもたち全員を無料で招待します。2回目ですが、本市の大阪府への回答を伺います。

答弁 市内在住の4歳から17歳の子どもたちを対象に無料招待を実施する回答をいたしました。

質問 万博開催に向けて本市の取り組みを伺います。
答弁 道明寺歴史まつりやハレマチビヨリ、葛井寺での仏像彫

刻体験、絵写経体験などの体験コンテンツをキャンペーンなどを通じてアピールいたします。

要望 アイセルシユラホールの観光拠点化への必要性や市民への理解を深めるには、観光客で本市の風景が変わりムードが高まったなどの根拠が必要です。SNSを活用しながら様々な取り組みを要望いたします。

4 本市教育について

質問 決意・所信を新教育長に伺います。

答弁 文化伝統を尊重し学ぶ喜び、高まる喜びを感じたくましく健やかに生きる人間の育成を掲げ、職員と一丸となり、歴史や文化、違いを尊重し、生涯にわたって学び続け、活躍できる「人づくり」に全身全霊を傾ける所存です。



大阪維新の会

個人質問

松本 洋介

1 藤井寺市民病院廃院に関する諸課題について

質問 周辺医療機関への協力要請や機能移転、連携病院の確保など、令和6年度以降の医療体制の構築を伺います。

答弁 周辺医療機関への訪問と協力要請の説明を完了しまし

た。小児科の入院診療機能は大阪はびきの医療センターと協議中です。令和4年度の市民病院の小児入院の実績が年間で延べ78件ですので、受け入れは問題ないと考えます。災害医療センターは青山病院と協議中です。この2院は連携病院になるための密な協議を現在も行っています。

質問 跡地利用の検討状況を伺います。

答弁 方針は未定ですが、地域貢献ができるように考えます。

質問 市へ配置転換する病院職員の給与支給の考えや年収補償がされるのかを伺います。

答弁 給与は職責に応ずるものという職務給の原則があるため、年収補償の考えはなく、職員以上の給与の支給はありません。
質問 病院職員が配置転換をする際に、必要以上に新たな役割や部署を創設することは不適切です。市の考えを伺います。

答弁 現在のところ、受け入れにあたり新たな組織や職制の整備などの考えはございません。

質問 代替の医療施設の提供と移動手段を伺います。
答弁 主に近隣市の病院で患者の受け入れを含め、協力いただいています。協議中の移動手段確保に尽力してまいります。

要望 小児を含む代替医療機関の確保や連携医療は、市民の健康を守る観点から協議をつめてください。跡地活用は税収向上につなげてください。移動手段は、通院や外出による健康増進、市民の生活の質や利便性の向上等を含め検討してください。そして、市民病院の物品は市民の財産です。市民サービスに還元するよう売却をはじめ活用ください。財政は、仮に市民病院を公立で存続させると、近年の病院事業会計から今後毎年約9億円の赤字が見込まれ、将来の本市財政や住民サービスに与える影響ははかりしれません。10年後に振り返った際に、今回の判断がよかったものと確信できるよう、私も尽力しますが、健全なる財政運営と市民の生命と財産を守るよう尽力ください。

2 食品ロス削減に向けた取り組みの進捗と成果について



大阪維新の会

個人質問

河井 計実

1 下水道について

質問 経済面や、高齢者の方を中心に、水洗化改造工事を行う必要性を感じていない方もいま

す。工事を後押しする取り組みや、PR手法を伺います。

答弁 水洗化改造工事を促すため、5万円交付の助成金制度や、工事費用の融資あっせん制度を設けています。生活環境の向上や、将来世代へのメリットが大きいのというPRも盛り込むことを検討しています。

要望 高齢者の一人暮らしや、生活困窮者もいらっしやいます。現在、助成金制度がありませんが、水洗化の促進として、個々の事情に考慮した助成金の増額を強く要望いたします。

2 男女共同参画について

質問 本市の女性活躍推進に資する女性職員の管理職登用の進捗状況を伺います。

答弁 女性の活躍度合いをはかる指標になる課長級以上の女性管理職の比率につきましては、令和5年4月1日現在が28.4%で、令和4年4月1日が28.0%です。若干上昇しています。課長代理級の女性比率が40%です。令和3年3月に策定いたしました「藤井寺市特定事業主行動計画」に掲げる数値目標29.4%達成に向けて、順調に推移しています。

要望 約半数いる女性職員の本来持っている能力を今一度見直

すべきです。職員のモチベーションアップとスキルアップを目指すことが市民サービスの向上と市民の利益につながります。

大阪維新の会の議会質問の録画映像はこちら▼



政新クラブ
代表質問
國下 尊央



1 道路冠水について

質問 市内で発生している道路冠水等の浸水被害の原因についてお聞かせください。

答弁 主な原因は、既存水路等の排水能力を超える大量の雨水が短時間に水路に流れ込むこと、道路冠水箇所が周辺よりも低い状況であることなどが主な原因となっております。

質問 具体的にお聞かせします。

答弁 大井4丁目12番6号付近の市道大井林線につきまして、大雨の際に被害が発生しております。原因と今後の対応についてどのようにお考えかお聞かせください。

答弁 道路冠水箇所の地盤の高さが周辺地盤よりも低くなっている状況であること、道路側溝の放流先である北側水路の水位

が上昇したことにより、排水が出来ない状態になったためと考えられます。今後の対応につきましては、状況把握と現地におきまして調査等を行ってまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

質問 小山8丁目3番1号付近を、東西に流れている水路についても、その原因と今後の対応についてお聞かせください。

答弁 原因につきましては、道路冠水箇所の地盤が周辺の地盤よりも低くなっている状況であると水路に一気に雨水が流れ込み溢れたものと考えられます。今後の対応としては、水路沿いの転落防止柵の下部に板などを設置し水路壁の高上を行

い、水路からの溢水の軽減を図ろうと考えておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

質問 他の地区においても、道路冠水等の浸水被害が発生しております。市民の皆さまが安心して生活を送れるよう、今後どのような取り組みをしていかれるのか、お聞かせください。

答弁 今後、浸水被害の軽減に向けた取り組みなどについて関係各課と連携して進めてまいりたいと考えています。

要望 市内各所の浸水被害の軽

減に向けて鋭意施工されているとは存じますが、被害が発生している箇所には、関係各課と連携し、市民の皆さまが安心して暮らせるよう早急な対策がなされることを要望いたします。

2 放課後児童会開設時間について

質問 以前より開設時間につきましては延長を要望してまいりましたが、その後の進捗状況についてお聞かせください。

答弁 令和5年8月に放課後児童会を利用されている世帯を対象にアンケート調査を実施いたしました。状況につきましては回収率が78%でございました。

質問 その結果を受け今後どのような対応をお考えですか。

答弁 令和6年度から学校休業日における開始時間を、現在の8時30分から30分早め、8時からの開設に変更する予定でございます。また同じく通常開設の終了時間を18時までとします。引き続き保護者のお迎えは必要にはなりません。登録なしでどなたでも18時まで利用していただくことができます。

質問 現在、放課後児童会は延長利用時間を含め18時に終了しますが、これは近隣自治体と比較して短いように思いますが、

いかがお考えでしょうか。

答弁 近隣市に比べ本市放課後児童会の終了時間は現在少し短い状況です。今後、勤務体制の整理や指導員の確保、経費の増加などの課題について引き続き研究してまいります。

要望 放課後児童会を利用する保護者の方々にとってせめて開設時間をもう少し伸ばして欲しいと言った要望はもっともだと思います。安心・安全な運営は、もちろんですが、例えば積極的にモデル事業を実施し、新たな課題が出てくれば、慎重に対応していただくなど、18時を超えて開所している放課後児童会も多くなっていることや保護者からの要望もあることから実現に向けて今後も頑張っており、取り組んでいきたいと思っております。

3 自転車用ヘルメットの着用について

質問 自転車用ヘルメットの着用の努力義務化に関して、市民の皆さまからの問い合わせはどのくらいありましたか、またヘルメットを着用しない場合の罰則はあるかお聞かせください。

答弁 数件ではありますが問い合わせがございました。努力義務であり、着用しなくても罰則はありません。



日本共産党

代表質問

木下 誇

1 大阪・関西万博を推進する市の姿勢を質す

質問 大阪・関西万博の会場の建築費が当初に見積もられていた約1.9倍の2350億円に膨れ上がり世論調査でも賛否が拮抗している。子ども向けの2回目の無料招待の意向は本市としてどう回答したのですか。

答弁 市の費用負担が発生するが同意する意向で回答した。

質問 市の負担額の想定をお聞かせください。

答弁 4歳から17歳の市内に在住する約7500人の子どもたちの無料招待を検討しており全員が入場する場合、約10000万円を想定しています。

要望 2回目の万博会場へ訪れる費用を市の税金を使ってまで無料で招待する必要はない。他の子育て施策に回すべきです。

質問 万博開幕に合わせて約2億円の税金を投入してアイセルシユラホールのリニューアル工事を令和6年度から実施しようとしている。地域への経済波及効果等を検討する中で費用対効果が見込めない場合、一旦

立ち止まる事も考えるべきではないか。

答弁 アイセルシユラホールの観光拠点化は本市への誘客を促すためのシンボリックな施設として活用する等の効果が期待できるとの精査を進め適切に対応していく。

質問 市民に観光拠点化を進めていくのかどうか意見を聞くべきだと考えるがいかがですか。

答弁 情報発信の上マニフェストに沿って取り組みます。

要望 物価高騰で住民の暮らしは大変です。優先順位を考えても一旦立ち止まるべきです。

2 市民病院廃院について

要望 私たちは市民病院の廃院に反対しましたが賛成多数で可決しました。すでに2か月が経過するが市の基本方針に掲げられている内容の進捗が市民に何も示されていない。早急に取り組み市民説明会を開くべきです。

3 誰もが安心して暮らせるための医療保険制度を

(1)令和6年度から始まる国民健康保険料の統一化による市民への影響について

質問 令和5年度の保険料をモデルケースでお聞かせください。

答弁 40歳代の夫婦と就学して

いる未成年2人の4人世帯で所得200万円の場合の国民健康保険料は4万2350円です。

質問 令和6年度から基準の多くが大阪府の共通基準に統一されます。その結果、市独自の減免制度が無くなります。独自の減免制度の対象外になる方と影響額についてお聞かせください。

答弁 独自減免は「低所得世帯」を対象に減免しています。減免対象世帯は令和4年度194世帯となっており、対象から外れた場合、1世帯当たり平均6万5432円の負担増となります。

要望 低所得世帯を含め、今でも高い保険料がさらに上がるにも拘わらず、市独自の保険料引き下げや独自減免も出来なくなる令和6年度からの国保の統一化は反対の立場を示すべきです。

(2)寡婦医療費助成制度の創設を求める

要望 ひとり親家庭の相対的貧困率は44.5%となっており、特に母子家庭については男女の賃金格差や非正規雇用が多く生活が苦しい状況です。18歳を超えた子どもがいる寡婦の家庭の暮らしを支援するために医療費助成制度の創設を求めます。

4 体育館、図書館は複合施設

化ではなく大規模改修で長寿命化を図ることを求める

要望 令和3年度に整備基本計画が策定されてから2年が経過しようとしているがこの間、体育館や図書館の耐震化は確保されておらず老朽化も進んでいる。早急に方針を決定し長寿命化に向け予算化するように強く求める。



日本共産党

個人質問

長尾 匡浩

1 市内全域に利便性の高い公共交通の充実を

(1)市民病院利用者への交通手段の確保について

質問 2か月が経ったが交通手段の確保について会議体を設置し市として方針を検討したのか。

答弁 正式な会議体は設置していません。また市独自の交通支援の方針は出していません。

質問 令和6年4月1日までに交通支援を必ず確保しなければならぬ認識はありますか。

答弁 交通支援については、市全体を俯瞰しながら、ふさわしい施策を検討していく。

要望 一刻も早く会議体を行い交通手段の確保に向けた方針と確保策を令和6年4月1日までに示し、市民に知らせてください。

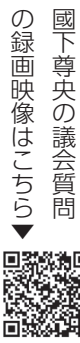
質問 市の公共施設にシェアサイクルが置かれています。そのシェアサイクルレンタル時に努力義務のヘルメット着用の表示は無いように見えました。その点についてお聞かせください。

答弁 事業者のホームページにて、利用者に対しヘルメットの着用などを周知しております。

質問 この努力義務に対しヘルメットの購入に対する補助制度など、どのような取り組みをされているのかお聞かせください。

答弁 藤井寺市交通委員会や羽曳野警察署と連携を密に取りながら、効果的な啓発活動を行い、ヘルメットの着用の推進を図ってまいります。

要望 着用率を上げるには、購入に対する支援・補助制度が必要だと思います。購入助成事業は、既に購入した人が、不公平感を持たないようにすべきであり、有効期間を設けるなど、既に購入した方が買い替え時に助成を受けられる様に、市として自転車用ヘルメット購入に対しての助成を行っていただきますように要望いたします。



国下尊央の議会質問



録画映像はこちら



4 ふじいでら市議会だより 2024年2月号

(2) 公共施設循環バスを利用しやすいコミュニティバスへ

質問 現在のエリアを限定する等の公共交通の検討は市民病院廃止に伴い考え直してはどうか

答弁 運行ルート、ダイヤ、方式について検討していく事は必要だと考えています。

要望 今後の市の公共交通は市民病院廃止に伴う利用者の交通手段を踏まえ、エリアを限定せず、多目的利用ができるコミュニティバスでの運行を求める。

2 加齢性難聴者への市独自の補聴器購入補助を求める

質問 聞こえの支援を市として何か取り組みはありますか。

答弁 現在、取り組みはないが、介護予防として聴力に関する講話の実施などを検討している。

要望 聞こえの支援をしていないのであれば、高齢者施策として、加齢性難聴の補助を市独自で取り組んでいくべき。



改革ふじいでら
代表質問

畑 謙太郎



1 感染症対策について

(1) 本市の取り組みについて

質問 現在の取り組みについてお聞かせください。

答弁 5類感染症への位置づけとなり個人・事業者の自主的な判断による対応となっています。

質問 感染者数と公的支援について伺います。

答弁 大阪府内の感染者数は令和5年11月13日現在429人、医療費の公費負担は一部を除き終了しております。

質問 発熱時、後遺症を含めた相談窓口の設置状況を伺います。

答弁 ワクチン接種にはコールセンター、感染症全般については健康課で対応しております。大阪府では大阪府コロナ府民相談センターを設置されています。

2 国民健康保険事業について

(1) 本市の取り組みについて

質問 令和6年度における国保事業の変更や被保険者への影響について伺います。

答弁 保険料率をはじめ減免基準や給付に係わる項目など府内共通の基準になり、市独自の減免制度は廃止となります。

質問 本市の保険料はどの様になりますか。

答弁 本市ではすでに府の統一保険料率を採用していますので

変化は緩やかであると思います。

質問 制度の変更点にかかる周知方法について伺います

答弁 広報紙やホームページで掲載するほか影響がある方には既に周知を図っております。

要望 今までの市独自減免対象者における救済措置を検討していただくよう要望いたします。

3 本市の観光施策について

(1) 観光拠点づくりの意義について

質問 アイセルシユラホールの観光拠点化の意義について伺います。

答弁 世界遺産古市古墳群の価値や魅力をわかりやすく伝え、本市の知名度やイメージの向上につなげてまいります。

質問 古墳群の周遊だけでなく本市ならではの楽しみ方を発掘し、PRすることも必要と考えますがどのようにお考えですか。

答弁 由緒ある神社仏閣や個性豊かな商店、飲食店はじめ市民が中心となったイベントの魅力を発信し藤井寺ファンを増やし持続可能なまちの発展につなげてまいります。

要望 アイセルシユラホールの案内板の改善、藤井寺インター出入口の美化などに取り組んでいただくよう要望いたします。

4 公有財産について

(1) 公有財産の活用について

質問 公有財産の活用についての考え方を聞かせください。

答弁 行政目的を終了した行政財産の有効活用については、公有財産有効活用検討委員会にて議論を行っております。

質問 元土師ノ里南駐輪場用地の活用について伺います。

答弁 古墳の周遊ループ上に位置することから来訪者の利便性の向上や地域住民への活用方法などを検討してまいります。

質問 支所の跡地利用についてのお考えを伺います。

答弁 現在は未定ですが、老朽化が激しいことから出来るだけ早い時期に除却し、公有財産有効活用検討委員会をはじめ、庁内で検討したいと考えています。

質問 私は以前にも提案しておりましたが、駅前立地ということと民間保育所の誘致が有益だと考えますがいかがですか。

答弁 民間保育所の誘致も選択肢の一つであると認識しており、皆様のご意見をお聞きしながら総合的に検討してまいります。

要望 跡地利用については市民の声に耳を傾けるとともに、大局的な見地に立って利活用していただくよう要望いたします。



改革ふじいでら
個人質問

横山 太喜

1 行政運営について

(1) 職員について

質問 藤井寺市在任の職員数と全体に占める割合を伺います。

答弁 全職員609名のうち187名、約31%です。

要望 市在任の職員は減少傾向です。職員が増加すれば災害対応、住民税増加、通勤手当削減、人口減への対応が可能になるほか、なにより職員が市民としての目線を持ちながら仕事に取り組みます。住居手当拡充など、市在任の職員数を増加させる施策を要望いたします。

質問 本市の人事評価制度について伺います。

答弁 職員を成績、意欲・態度、能力の3つの視点から絶対評価することとしております。

要望 相対評価の導入を求める意見もありますが、相対評価は能力に問題がなくても必ず一定数が最低ランクに分類されるため、執務意欲を低下させるおそれがあります。先行している大阪市でも最低ランクの基準割合が緩和されるようです。また絶対評価と比較して相対評価は職員の納得感も執務意欲も低い水準にとどまっているとの調査を

大阪府が公表しています。人事評価制度に重要なことは適正な評価と責任・能力に応じた給与配分です。現行の等級ごとの重なり幅の大きな給料表では、上司の給与が部下より低い事例が生まれます。それこそ責任と処遇の不一致であり、意欲の低下につながります。そうした給与の逆転が生じない制度や管理職手当の増額を検討してください。

(2) 人事異動について

質問 採用から10年間で窓口・業務・管理の3部門を経験させる方針とのことですが、進捗状況を伺います。

答弁 新人・若手で3部門を経験している割合は約3%です。

質問 新人・若手職員が同一課で5年以上勤務している割合を伺います。

答弁 約18%です。

質問 異動について、本市の課題を副市長に伺います。

答弁 職員の同一職での在職年数が長期に及び、結果として職員の専門領域が狭められ、部門間の機動的な人事異動に支障が生じるだけでなく、縦割り意識の蔓延や、組織連携の硬直化などにつながっているのではないかと考えます。

要望 長期在職者は積極的に異

動対象とし、職員が幅広い視野と能力・経験を身につけられるよう、人事異動の活性化をすすめてください。また10年間で3課を経験させる方針ならば、具体的な数値目標を立てて達成率の進捗を管理してください。

2 市政について

(1) 歳入増加策について

質問 今後の歳入増加についての取り組みを伺います。

答弁 ふるさと納税獲得に向けた魅力的な返礼品を取りそろえることや、本市の持続成長を支える世代の流入や定住に取り組みまいります。

(2) 組織機構改革について

質問 先の議会で、ふるさと納税の担当課が3課に分かれており責任の所在が不明確になっているなどの問題から所管の一元化を要望いたしました。検討状況を伺います。

答弁 令和6年4月1日実施予定の組織機構改革において、所管の一元化を目指しております。

要望 ふるさと納税額の増加は歳入増に寄与する数少ない方法です。返礼品に関連する企業誘致や専門家の助言を積極的に取り入れるなど、思い切った施策を実施してください。



公明党
代表質問
片山 敬子



1 機構改革について

質問 令和5年12月1日、新たな病院に関する組織を設置されていますが、その組織の目的等について教えてください。

答弁 新たな組織として、庁内の関係部課で連携を図りながら、市民病院廃院総合調整室において藤井寺市民病院の廃院に向けた諸課題の整理や調整などを行ってまいります。

要望 要望しておりました病院の廃院に向け機構改革を通して取り組みがされたこと、また昨日のご答弁で要望していました災害拠点病院は青山病院で小児科は羽曳野医療センターで受けていただき安心しました。引き続き移動手段、医療構築の財政計画等様々な課題をよろしくお願います。

質問 病院廃院後の市全般の機構改革の重点対応分野についてお聞かせください。

答弁 子育て、子育て支援の強化、DXの推進、公共施設の適正管理、観光振興、産業振興、コンプライアンスの徹底に取り

組みます。

質問 子育て分野の対応強化の発信をされました。令和5年6月議会でも要望しました、こども家庭センターの設置についてどのように考えておられますか。

答弁 令和6年4月1日から、こども家庭センターを設置いたします。

2 子育て支援の充実について

(1) 相談窓口について

質問 こども家庭センターはどのような体制を考えていますか。

答弁 母子保健と児童福祉が一体的に切れ目なく支援を行う体制の構築に努めてまいります。

質問 家庭センターの環境整備を考慮しておられますか。

答弁 安心して相談できる環境を整えてまいります。

要望 家庭センターの設置にあたり2階フロアの整備をお願いいたします。また母子保健と児童福祉を統合して一体化していただきたいですが、業務の連携の実施をしていただけるとのことです。一層の支援の充実を目指し、専門職による個々に応じた細かい相談援助をお願いします。

(2) 誰でも通園について

質問 未就園児に対してこども家庭庁では保護者が就労しなくても保育所を月10時間まで利用

できる試行的事業を令和5年度中に実施を国で進められています。本市の状況をお聞かせください。

答弁 令和5年度も待機児童が発生しており実施は難しいです。

要望 誰にも悩みを打ち明けられず孤そだてに陥る問題が家庭内で起きるため、虐待、障がいと言った課題を抱えていても発見が遅れがちである。制度を利用することによって保育士から助言を受けたり孤立化の防止につながります。待機児童がいる中で、今後、幼稚園の空き部屋、つどいの広場の拡充、小規模保育の推進等、受け皿の推進をしていただき取り組みを進めてください。また病院跡地には道明寺地域支援の政策とともに第4保育所の建て替えの検討もお願いいたします。

(3) おむつの持ち帰りについて

質問 令和5年10月決算委員会で園でのおむつの処分を進めていただく要望をしましたが検討状況をお聞かせください。

答弁 令和6年4月からすべての公立保育所、認定こども園のおむつを園で処分する予定です。

3 子宮頸がんワクチンについ

て

質問 子宮頸がん予防ワクチンは一時期積極的な勧奨が控えられ、令和3年11月に再開されました。人数を教えてください。

答弁 令和3年度は144人、令和4年定期接種の方が216人、積極的勧奨を控えられていた対象者キャッチアップの方230人、合計446人となり増加しました。

質問 キャッチアップの対象者は令和4年度から6年度まで公費でワクチンを接種することが出来ますが、その期間を過ぎると公費でワクチンを接種できなくなります。周知についてお聞かせください。

要望 キャッチアップの対象者の方に対してワクチン接種の期限を過ぎ金額自己負担とならないため、令和6年4月から5月までに個別送付をお願いします。また男性へのワクチン接種もよろしく願います。

質問 改正空家特措法において管理不全空家等とありますがどのようなものか勧告された場合固定資産税はどうなりますか。

答弁 特定空家化を未然に防止する目的とし、特定空家等になるおそれのある空き家等を管理不全空家等とし、勧告された場

合は土地の固定資産税が3倍から6倍になります。

要望 現状課題に取り組み、国の支援策等を活用し効果のある空家対策をお願いします。



公明党
個人質問
伊藤 政一

1 安心安全のまちづくり

(1)防災に対する備えについて

質問 本市の備蓄品の確保についてお聞かせください。

答弁 大阪府の大規模災害時における備蓄方針に基づき、緊急物資確保計画を定め購入します。

質問 避難所において、大人用紙おむつを交換する場合の対応をお聞かせください。

答弁 避難所用の簡易 TENT を使っています。

質問 自主防災訓練で受け付け訓練はどのようにされますか。

答弁 各避難所班の職員に配布している、避難所受付個票を使って受付訓練を実施しています。

要望 ハード・ソフト両面の災害対応力強化と危機管理室の若い世代の育成を要望いたします。

(2)藤井寺駅周辺整備について

質問 駅周辺のバリアフリー化の進捗状況をお聞かせください。

い。

答弁 基本構想に基づき進めているところですが、

要望 未整備箇所の整備と弱者へ配慮した施策を要望します。



公明党
個人質問
水谷 雄路

1 安心で安全な公園緑地利用について

質問 公園緑地等の安全対策は。

答弁 ハード面では、遊具設備の巡回時及び学校の長期休暇前ごとの調査・点検。ソフト面は、広報紙による公園利用等についての啓発や看板を設置するなどの周知に努めております。

質問 遊具等の安全点検内容、火傷や怪我等の把握はされていますでしょうか。

答弁 日常業務における巡回・作業時の目視確認、ケガの把握またハ公園施設点検表に基づき点検確認を実施しております。

要望 防犯カメラの設置の検討、高齢者の健康増進にも利用できるユニバーサルデザインに配慮した遊具導入推進を要望します。

2 若者世代の結婚支援について

質問 平成20年に一度、休止と

質問 市として結婚支援の取り組みについてお聞かせください。

答弁 大阪府婚活子育て応援サイト「ふあみなび」の周知に努め、結婚を考えておられる市民へのサポートを図ってまいりたいと考えております。

要望 「ふあみなび」の周知をしていただくようお願いいたします。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 アイセルシユラホール観光拠点化基本構想について

質問 著名な観光地ではオーバーツーリズムが問題となっており、本市においても例外ではありません。懸念されますが、何か対策は考えておられますか。

答弁 周遊の際の公共交通機関利用の周知や近隣へのマナー向上の啓発が必要と考えています。

要望 リニューアルには多額の経費が見込まれますが、市民生活に必要な事業なのか、見極めて計画を進めてください。

2 都市計画道路八尾富田林線について

質問 平成20年に一度、休止と

された事業が平成30年に、認可されて、用地買収が済んだ惠美坂2丁目地区で令和2年4月から埋蔵文化財調査が開始されました。何も説明を聞いていない住民の方が工事の騒音と振動に苦情を訴えておられますが、住民の方へ周知はどのようにされたのかお聞かせください。

答弁 府主催で令和5年6月23日説明会を実施されました。

質問 1度の説明では充分ではないと考えますが、今後の対応を市長はどうお考えかお聞かせください。

答弁 相談・要望を受け話し合う対応をし、理解を得られるよう大阪府に働きかけたいと考えます。

要望 津堂小山地区とは環境の違う地区です。これまでの対応は、住民の方には伝わらず、誠意や丁寧さに欠けているとおっしゃいます。公共工事であるからこそ、一番影響のある地区に対して配慮が必要です。良好な住環境を保全するためのルールを守り、当たり前の暮らしを守ることが行政の務めであること

を肝に銘じて今後の事業を検討されることを要望します。

令和5年第4回定例会議決結果一覧

| | | ふじいでら 改 革 | | 公明党 | | | 維新の会 大 阪 | | | 政新クラブ | | 日本共産党 | | 無党派 | 結 果 |
|--------|--|--------------|----------|----------|----------|----------|-------------|----------|----------|----------|----------|------------|---------|----------|--------|
| | | 山本 忠司 | 畑 謙太郎 | 横山 大喜 | 片山 敬子 | 伊藤 政一 | 水谷 雄路 | 松木 洋介 | 生田 達也 | 河井 計実 | 國下 尊央 | 岡本 光 | 木下 誇 | 長尾 匡浩 | |
| 認定第1号 | 令和4年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 認 定 |
| 認定第2号 | 令和4年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 認 定 |
| 認定第3号 | 令和4年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 認 定 |
| 認定第4号 | 令和4年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 認定第5号 | 令和4年度藤井寺市病院事業会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 認定第6号 | 令和4年度藤井寺市公共下水道事業会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 議案第51号 | 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第52号 | 藤井寺市立休日急病診療所条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 原案可決 |
| 議案第53号 | 藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第54号 | 藤井寺市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長のため、表決せず | | ○ | 同 意 |
| 議案第55号 | 藤井寺市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長のため、表決せず | | ○ | 同 意 |
| 議案第56号 | 令和5年度藤井寺市一般会計補正予算（第7号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第57号 | 令和5年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第58号 | 令和5年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算（第3号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第59号 | 令和5年度藤井寺市病院事業会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第60号 | 令和5年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算（第1号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第61号 | 第六次藤井寺市総合計画基本構想の策定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | 原案可決 |
| 議案第62号 | 藤井寺市事務分掌条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第63号 | 令和5年度藤井寺市一般会計補正予算（第8号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第64号 | 藤井寺市手数料条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第65号 | 藤井寺市国民健康保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同 意 |

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

令和6年第1回定例会のお知らせ

【本会議】

2月20日(火) 議案説明

2月29日(木) 一般質問

3月1日(金) 一般質問など

3月22日(金) 委員長報告・採決など

【常任委員会】

3月6日(水) 民生文教常任委員会

3月7日(木) 総務建設常任委員会

【予算特別委員会】

3月8日(金) 説明

3月14日(木) 審査

3月15日(金) 予備日

※各日10時から開催します(3月15日は13時から)。日程は変更する場合があります。